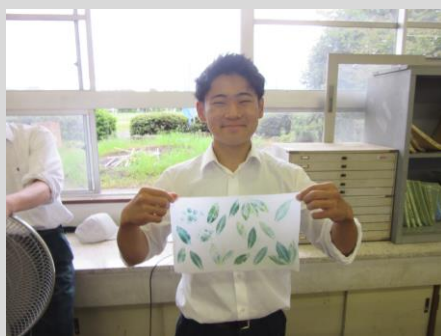
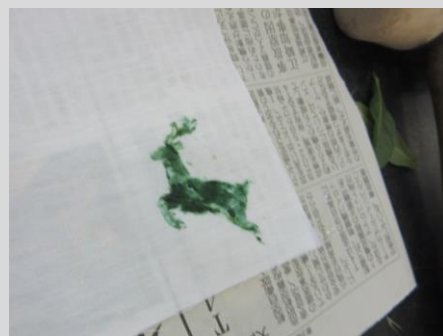


3年生の選択科目「生物活用」の授業で、タデアイを使った「たたき染め」を行いました。今回は、タデアイの生葉から染料を作り、ウール（動物繊維）の染色に挑戦しました。今回は、葉を直接布の上に置いて叩く「たたき染め」に取り組みました。



前回行ったタデアイの生葉染めでは、綿などの植物繊維は染まりにくく、主にウールなどの動物繊維を染色しました。一方、今回挑戦したたたき染めでは、葉を直接布の上で叩くことで、葉の細胞に含まれる成分が繊維に移り、綿などの植物繊維にも色を付けることができます。今回は綿100%の生地を使用し、生徒たちは思い思いのデザインで作品を制作しました。また、葉を配置するだけでなく、型紙を活用して模様を付けるなど工夫を凝らし、それぞれ個性あふれる作品に仕上げることができました。



タデアイにはインディカンという無色の成分が含まれています。このインディカンが分解され、空気中の酸素と反応して酸化することで、青色の色素であるインディゴへと変化し、美しい藍色に染まります。完成後に水洗いを行いました、色がしっかりと定着し、鮮やかな藍色を楽しむことができました。自然の色の美しさと植物の持つ不思議な力を学ぶ貴重な機会となりました。